

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5217 (直通) FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正

<http://www.computernews.com/marketview>

インターネットショッピング経験者 8割を突破

BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社13社（エイデン、大塚商会＝ランド、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス＝T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックピーカン、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション＝50音順）562店舗（2001年4月1日現在）の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています（毎月第2、第4金曜日の発行となります）。

株式会社コンピュータ・ニュース社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研の調べで、インターネットでショッピング経験があるユーザーは8割以上に達していることがわかった。今回実施したアンケート調査によると、2001年に入ってから急激に利用経験者が増えている。インターネットショッピングは、PC普及がもたらした新しい通信販売の一形態として、利用が拡大傾向にあるとみられる。

（問合せ先 BCN総研・北村 憲正）

BCN総研がホームページ上で行ったアンケート調査（調査期間：9月7日～12日、有効回答数：1,208人）によると、今までにインターネットショッピングの経験があるユーザーは83.9%に達した（図1）。この結果をカタログやテレビでの通信販売利用経験別にみると、通信販売経験者の87.9%がインターネットショッピングを利用しているのに対し、未経験者では65.6%にとどまっている。通信販売経験者はインターネットショッピングに抵抗が少なく、積極的に利用しているとみられる。

初めてインターネットショッピングを利用した時期では「2001年1月～8月」（24.5%）が最も多く、次いで「2000年1～6月」が17.9%となった（図2）。全体的にみると利用者は年々増加、2000年以降は大幅に伸びており、インターネットショッピングはここ1～2年で一気に盛り上がってきていると考えられる。

インターネットショッピングに際して利用者が感じる問題では「送料負担が大きいこと」（75.9%）が最も多く挙げられた（図3）。次いで「商品が写真ではよくわからないこと」（55.2%）、「個人情報の管理体制」（49.3%）が挙げられた。どこからでも製品を購入できることがインターネットショッピングの醍醐味であるが、その手軽さゆえに、発生する送料に対して不満が大きいようだ。

図1 インターネットショッピングの利用経験

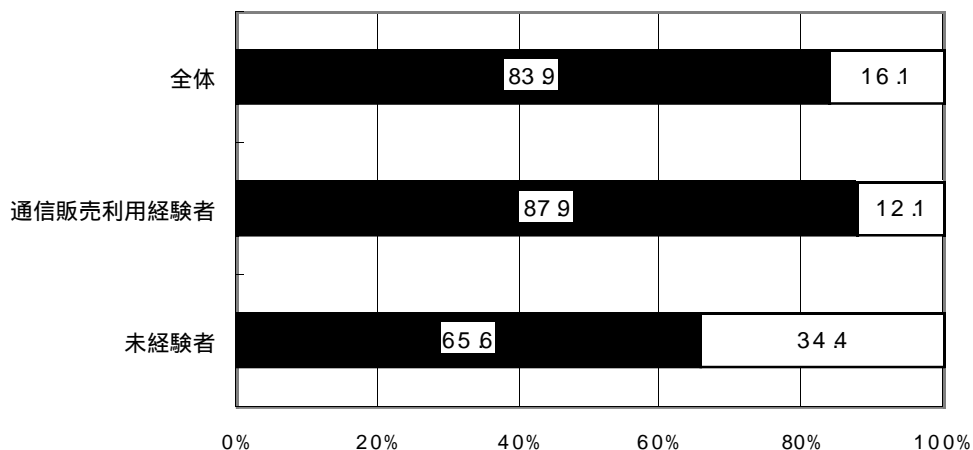


図2 初めてインターネットショッピングをした時期

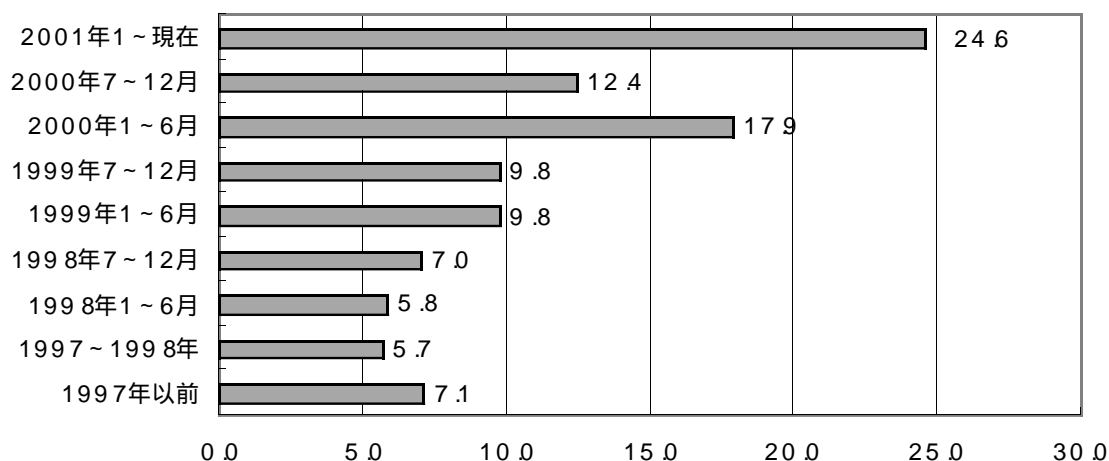
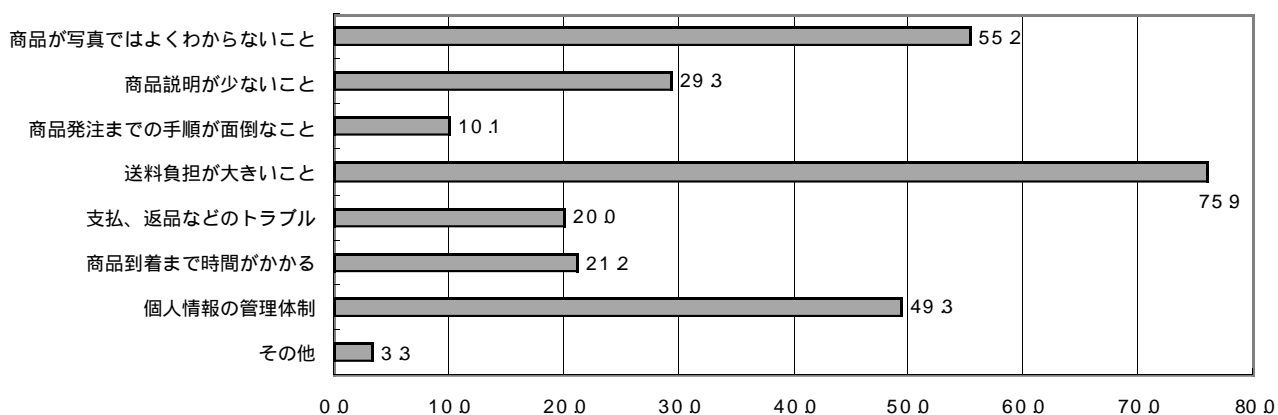


図3 インターネットショッピングの不満点 (複数回答)



* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。北村までご連絡下さい (kitamura@bcn.co.jp)。